

令和3年4月13日  
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構  
衛星利用運用センター

『宇宙×スマートシティ』 –衛星データ利用ワークショップ2021–  
アイデアソン参加者募集のご案内

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（略称：JAXA、理事長：山川宏、所在地：東京都調布市）は、2021年5月12日から6月18日にかけて、『宇宙×スマートシティ –衛星データ利用ワークショップ2021–』を福岡市にて開催します。

JAXAは、2021年度打ち上げ予定の先進光学衛星「だいち3号」(ALOS-3)のデータを利用した新規事業の創出、事業者の開拓を進めています。今回、「スマートシティ」をテーマとし、九州大学箱崎キャンパス跡地におけるまち（スマートシティ）づくりにて掲げられている「FUKUOKA Smart EAST (※)」に着目しながら、衛星データの利活用による、地域課題の解決に向けたビジネスアイデアの創出及び宇宙ビジネスへの新規参画の促進を目指し、ハンズオントレーニングとアイデアソンを実施いたします。

今回参加者を募集しますアイデアソンでは、地域課題の解決をテーマに衛星データの活用アイデアをチームでディスカッションしていきます。宇宙からの視点をどう生かすのか、ビッグデータでもある衛星データが何に有用なのか、皆さんのアイデア創出をお待ちしております。

新型コロナウイルス感染症の流行状況を考慮し、5/17(月)のキックオフはオンラインのみでの開催とさせていただきます。  
なお6/17(木)の最終発表についてもオンラインを基本としますので、ぜひご参加ください。  
上記変更に伴い、申込締め切りを5/7(金)まで延長しております。

(※)  **FUKUOKA Smart EAST** とは

少子高齢化など、まちづくりの様々な課題を解決しながら持続的に発展していくため、最先端の技術革新の導入などによる 快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れるモデル都市を創造していくまちづくりの考え方で

## アイデアソンの詳細

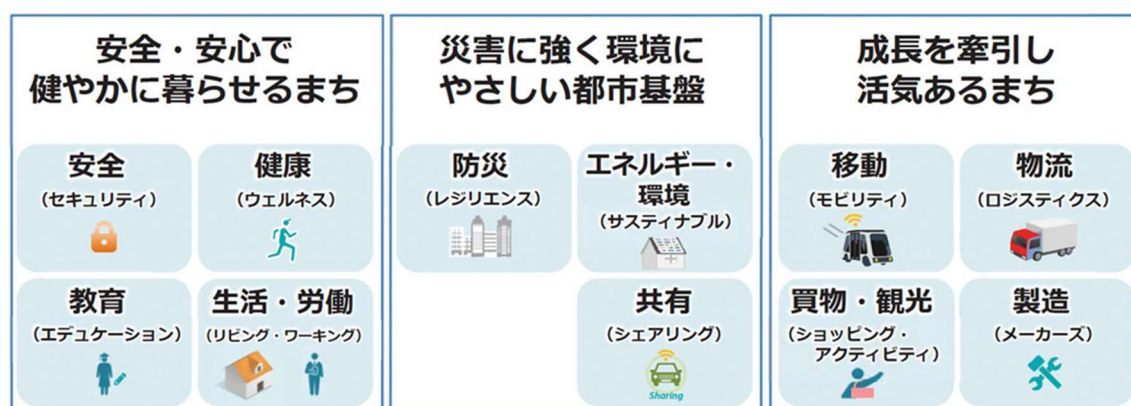
1.主 催：国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

### 2.イベント概要

「宇宙×スマートシティ」をテーマとし、衛星データ利活用による地域や社会の課題の解決にむけたビジネスアイデアの創出を目指します。

なお、本アイデアソンでは、福岡市にある九州大学箱崎キャンパス跡地のまち（スマートシティ）づくりにて掲げられている「FUKUOKA Smart EAST」に着目し、衛星データの利活用が想定される「健康」「防災」「エネルギー・環境」「買物・観光」「移動」の分野から地域課題を導出し、その解決につながるビジネスアイデアの検討を進めていく予定です。（※1）

【参考：FUKUOKA Smart EAST における 11 の分野別サービス例】



### アイデアソンを通じて体験できること

- ・開催期間中、JAXA 職員や衛星データ解析の専門家からメンタリングを受けることができます。どの様な内容でも自由に質問でき、メンターが丁寧に対応します。
- ・検討したアイデアに対し、投資家等を含む有識者から構成される評価者が、事業化観点、技術的観点に基づいた評価を行います。参加企業の企画力、技術力等をアピールできるチャンスとなります。（※1）
- ・最終発表で一位となりましたアイデアについては、JAXA・J-SPARC(※2)等を活用しビジネスモデル共創・マッチング機会の提供など JAXA がお手伝いいたします。

・ご希望により、検討したアイデアを JAXA 新事業促進部 WEB サイトにて紹介させていただきます。

・本ワークショップに参加したことを御社 WEB サイトや SNS 等で紹介することができます。(ただし、アイデアや個人情報の取り扱いにはご注意ください)

※1 本アイデアソンにおける評価は、「九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりに係る土地利用事業者公募」とは一切関連するものではありません。

※2 J-SPARC : JAXA Space Innovation through Partnership and Co-creation は、事業意思のある民間事業者等と JAXA の間でパートナーシップを結び、共同で新たな発想の宇宙関連事業の創出を目指す新しい研究開発プログラムです。

#### アイデアソン プロデューサー陣プロフィール

##### 神武 直彦 (こうたけ なおひこ) 教授

慶應義塾大学大学院理工学研究科  
修了後、宇宙開発事業団入社。H-  
IIA ロケットの研究開発と打上げ  
に従事。欧州宇宙機関 (ESA) 研  
究員を経て、宇宙航空研究開発機  
構主任開発員。国際宇宙ステーシ  
ョンや人工衛星に搭載するソフト



ウェアの独立検証・有効性確認の統括および宇宙機搭載ソフトウェアに関するア  
メリカ航空宇宙局 (NASA)、ESA との国際連携に従事。2009 年度より慶應義塾大  
学准教授。2018 年度より同教授。日本航空宇宙学会宇宙ビジネス共創委員会委員  
長。国内外の宇宙政策に関する各種委員。Multi-GNSS Asia 運営委員。米国 PMI  
PMP。Asia Institute of Technology, Adjunct Professor, 博士 (政策・メディア)。

## 奥村 俊夫（おくむら としお） 参事

一般財団法人 リモート・センシング技術センター ソリューション事業第二部 調査普及課 参事。

専門はコンピュータサイエンスで入社し、衛星データの受信処理や解析システムの設計開発に携わっていました。古くは Landsat、SPOT、MOS、EERS-1/2、JERS-1、ADEOS、ADEOS-2 から、ALOS、ALOS-2 といった衛星の地上設備の開発に携わってきました。リモートセ

ンシングに携わるなら、データ利用分野をやってみたいと農業利用分野に飛び込み、日本中、世界中の農地を対象に衛星データを解析し、検証、評価のため国内はじめ東南アジアやアフリカなどの様々な農地を訪れたりもしています。今では、農業リモートセンシングをベースに、あらゆる分野で、あらゆる技術を活用して社会課題解決を目指す仕事をしています。



<https://rs-training.jp/lecturer/> より抜粋

## 平松 崇（ひらまつ たかし） J-SPARC プロデューサー

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 新事業促進部 事業開発グループ

J-SPARC プロデューサー。

これまで大学にて超小型衛星の開発に従事。森林火災や火山活動など世界規模の社会課題を解決するための衛星ミッションに参画しつつ、カザフスタンやベトナムといった宇宙新興国へのキャパシティビルディング事業を通して宇宙利用の促進、開発技術の裾野拡大を行ってきた。新規参入しやすく規模もコントロールが可能な超小型衛星がさまざまな価値創造を実現できると信じ、宇宙・宇宙以外問わず新しいアイデアとコラボレーションを目指す。



<https://aerospacebiz.jaxa.jp/solution/j-sparc/producers/> より抜粋

### 3.開催日時

実施期間： 以下の三日間に分けて実施

- ① キックオフ : 令和3年5月17日(月) 13:00~17:30 まで
- ② メンタリング・中間報告  
: 令和3年5月24日(月)~6月11日(金)  
(期中、計三回実施、日時はチームごとに調整)
- ③ 最終発表(Open) : 令和3年6月17日(木) 詳細は調整中

※期間中に、参加者へのオンラインによる JAXA 職員等のメンターによる技術アドバイスを実施いたします。

※最終発表は、アイデアソン参加者以外の一般視聴者にオンライン配信を予定しています。

#### プログラム

宇宙×スマートシティ -衛星データ利用ワークショップ 2020-	
アイデアソン	
1	令和3年5月17日(月) 13:00~16:30 @ <u>オンライン</u> <u>キックオフイベント</u> 1. イントロダクション Fukuoka Smart East の紹介 2. 衛星データについて 3. 衛星データおよび利用事例の紹介 4. 自己紹介 5. 課題の把握と課題解決のためのアイデア創出(グループワーク) 6. アイデアの共有とディスカッション
2	令和3年5月24日~6月11日(期中、計三回) @オンライン <u>メンタリング・中間確認</u> 期間中に計三回(各回一時間程度)のメンタリングを実施します。日時の詳細はチーム単位で調整させていただきます
3	令和3年6月17日(木) 調整中 @オンサイト、オンライン <u>最終発表</u> グループからの最終発表、関係者×有識者によるトークショーなどを計画しています。

4. 開催場所：テレカンシステムとして Zoom、ホワイトボードツールとして Miro、グループウェアとして Slack を利用します。

6/17（木）に実施予定の最終発表について、福岡市内を会場としたオンサイトで実施の可能性もあります。

5.参加費：無料

6.募集者数：30名

申し込み多数の場合、ご希望に添えない場合があります。

※ハンズオントレーニングについてもご興味のある方は別途ご応募ください。

双方のイベントに参加することも可能です。

7.ご用意いただくもの

オンラインでのメンタリングに Zoom 等のツールを利用するため、PC と PC を接続するネットワーク回線を準備する必要があります。

8.参加資格：

- ・地域に根差した課題をお持ちの方、または地域や社会の課題解決に情熱をお持ちの方
  - ・衛星データを利用したビジネスに興味をお持ちの方
  - ・検討したアイデアの著作権について、参加者全員で共有することに同意いただける方
- ※プログラミング等の知識は必要ではありません。

9.申込方法：

以下の URL にアクセスしフォームに登録いただきます。

申込の締め切りは令和 3 年 5 月 7 日 午後 5 時 00 分となります。

<https://forms.office.com/r/0sxj5DsZ8D>



10.問合せ先：国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 衛星利用運用センター

仲村 和義 電話：070-3117-4703、 Email：nakamura.kazuyoshi@jaxa.jp

松尾 尚子 電話：070-3117-4780、 Email：matsuo.naoko@jaxa.jp